

「博物図譜」を切り抜こう

小豆島町立小豆島中学校 翠 さやか

1 実施学年 1年生

2 学習のねらいと博物館の活用との関連について

(1) 主題名

「博物図譜」を切り抜こう

(2) ねらい

「高松松平家博物図譜」の鑑賞や、図譜に描かれた資料を活用してデザインするなどの活動を通して、江戸時代の文化に関心を持つとともに、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。

(3) 博物館との関連

活用した資料：「自然に挑む 江戸の超グラフィック 高松松平家博物図譜」図録

「高松松平家博物図譜」デジタルデータ

「高松松平家博物図譜」(衆鱗図、衆禽画譜、衆芳画譜)

3 指導計画(2時間)

- ・ 博物図譜について知る、切り抜きたい図譜を選ぶ(1時間)
- ・ 選んだ博物図譜を切り抜いて台紙に貼りつける(1時間)
- …特別展「自然に挑む 江戸の超グラフィック 高松松平家博物図譜」関連行事ワークショップ「松平家図譜の技」の教材を使用

4 実践の概要

- ・ 生徒が制作した作品。図譜の切り抜きの難易度を設けて、生徒が図譜を選択した



難易度1：鯛(切り抜きやすく人気)



難易度2：鰯(鯛と同じくらい人気)



難易度 3：タコ(吸盤の切り抜きに苦労していた)



難易度 4：ミノカサゴ(ヒレの切り抜きに苦労した)

5 生徒の感想から

- ・細かい線が1本1本描かれていて、とても大変でした。あんなにも正確に描けるって、江戸時代の絵師ってすごいなと思いました。
- ・一番簡単な切り抜きでも、難しいところは、たくさんありました。だけど、完成したときの達成感はとても強かったです。

6 成果と課題

(1) 成果

- ・描くことが苦手な生徒も、図譜を切り抜く作業は集中して取り組めた
- ・切り抜く図譜を難易度別に用意したことで、自分の技能に合わせて図譜を選び、意欲的に制作できた
- ・図譜を題材にすることで、生き物の生態に関心を持つことができた。

(2) 課題

- ・切り抜いた後の振り返りや、制作してみたの感想、相互鑑賞の時間を確保する
- ・博物図譜から自分の表現活動にどう活かしていくかの教材研究をする

(3) 博学連携の視点から

- ・博物館に行く機会がない生徒でも、「図譜」に親しみ、香川県の美術について学ぶきっかけになった
- ・ミュージアムと連携した授業を実践でき、新しい視点で教材研究に取り組めた